



為せば成る

2024 年11月22日(金)発行

【3組担任 Y先生より】

11月になり冬の気配が感じられる今日この頃、体育教師の世界では「サッカーの季節が来たな」と言ったり言わなかったりします。そんなサッカーの現場でよく使われる言葉に「リスペクト(respect)」という言葉があります。一般的に、リスペクトとは、「尊敬する」と訳され、目上の人を敬うように解釈されがちです。しかし、サッカー界で使われる意味合いはそれとは少し違い、味方や相手選手、審判、サポーターなどサッカーに関わる全ての人を「大切におもう」という意味で使われます。私はこの言葉が好きで、日常生活においても常に「リスペクト」の心を持とうと心がけています。

「自分に関わるすべて人をリスペクトする（大切におもう）」

私自身も完璧にできているとは言い切れません。まだまだリスペクトの心を育てなくてははいけません。サッカーの季節の今日この頃、みなさんも良ければ一緒にリスペクトの心を育てていきませんか？



★10月28日（月）～11月22日（金）まで、I先生が教育実習に来られ、1年1組のHRを担当してくれました。池田先生からみんなへメッセージをいただきました。

須磨友が丘高校1年生のみなさん、実習生のIです。この度、大学院の実習でみなさんと一緒に過ごすことになりました。大学院では、ICTならではの数学の授業を研究しています。

実習中はみなさんの挨拶や楽しそうな会話から元気をもらっていました。1日目のクイズ大会では私を快く受け入れて集合写真に入らせてもらい、良い思い出になり、最高のスタートをきれて感謝しています。実習生だからと敬遠することなく話しかけてくれたことは、私の緊張をほぐしてくれました。HRでお世話になった1年1組のみなさん、元気で明るく毎日お話しするのがとても楽しかったです。1組のみならず、すべてのクラスでちゃんと掃除を続けてくださいね。私の授業はつたなかったと思いますが楽しんでいただけていたら幸いです。

大学院の実習は2回あり、今年だけでなく来年も須磨友が丘高校で実習生としてお世話になります。その時に、またみなさんの元気な挨拶が聞けることを楽しみにしています。



教育は“共育”と感じる日々

前橋先生は執筆活動もされており、その文才は素晴らしいです。

前橋 啓治 63歳 変驚いた。笑いの陰に苦悶を隠していることがある、高校生の担任をして30年近くたつ。年ごとにいろいろな個性を持った生徒たちを受け持つことになる。長年の経験からこんな学級目標を立てよう、と新クラスに臨む。しかし、現実はいさしい。

過日、クラスのある生徒から言われた。「先生は僕(私)のことを分かってくれていない」。ショックだった。

正直に言ってくれた生徒に話しかけた。普段は楽しんでうにしている子だから大

教育に携わるのにベテラン、新人は関係がない。真に生徒たちに向き合うことが教師としての使命だと感じる昨今である。

教育というのは、まさに共育だと感じる。子どもたちの個性を尊重しながら、自らもさらに専門性やその生徒に合った教育支援を行う必要がある、それは彼らの今後の人生経路に関わってくる。



12月 行事予定		
4~10		期末考査
11	水	4 5 分授業開始 4 限まで
12	木	教育相談
23	月	学年集会 HR 防災避難訓練
24	火	大掃除 終業式 全校集会 HR

Mからのメッセージ

肌寒く、人恋しい季節がやってきました。このシーズンになると、毎年わくわくしてしまうイベントがあります。それは、まさに “It's the most beautiful time of the year.”であるクリスマスです。クリスマスが近づくと、必ず鑑賞したくなる映画や聴きたくなる音楽、そして会いたくなる人が思い浮かびます。きっと、誰もがそれぞれの特別なクリスマスを過ごしていることでしょう。あと1ヶ月、この一年で最も美しい季節を存分に堪能したいと思います。

$f(x)=\log_b(x)$ for $x = 13, 5, 18, 18, 25, 3, 8, 18, 9, 19, 20, 13, 1, 19$

答えがわかった人は松本まで！（何かもらえるかも？）